

【週刊タバコの正体】

2013/02 和歌山工業高校 奥田恭久

■Vol. 24

- (No. 328) 第4話 近づくとがっかり
-- 「たばこくさい」 って残留受動喫煙(サードHANDSモーク)!!?
- (No. 329) 第5話 黄斑変性症
-- 眼にも存在するタバコの影響
- (No. 330) 第6話 一生イライラ
-- タバコを吸い始めなければ一生イライラしないですむ
- (No. 331) 第7話 はじめの一歩
-- タバコの売り上げて、結局赤字を生むことに

URL: http://www.jascs.jp/truth_of_tobacco/truth_of_tobacco_2011.html

※週刊タバコの正体は日本禁煙科学会のHPでご覧下さい。
 ※一話ごとにpdfファイルで閲覧・ダウンロードが可能です。
 ※HPへのアクセスには右のQRコードが利用できます。



毎週火曜日発行



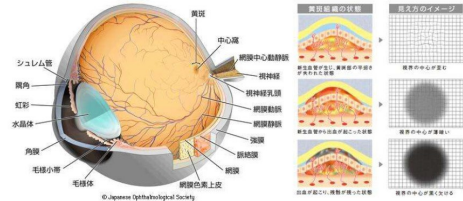
Serial number 329

第5話

週刊 タバコの正体

タバコを吸い続けると、いろんな病気になる可能性が高くなります。肺がん、胃がん、心筋梗塞、脳梗塞、COPD...などの病気も1年や2年では発症しませんが、40年も50年も吸い続けるほとんどの喫煙者は身体どこかにダメージが現れ始め、先のような病気となる人が多いのです。

タバコによる病気は内臓に集中していますが、意外にも「眼」の病気も存在します。「黄斑変性症」(おうはんへんせいしょう)という、もの見え方がおかしくなる病気です。



私たちは、眼の網膜に届いた光をもとに脳で画像に変換されたものを「見ている」のです。その網膜の中心にある1.5~2mm程度の部分が黄斑と呼ばれています。つまり、見ているところの光が集まってくる部分なので黄斑に異常があると、上図右のように、視野の中心がゆがんで見えたり、黒く欠けたりするのです。これが「黄斑変性症」という病気です。

この病気の原因は、黄斑にある毛細血管が詰まって血液が流れなくなる事がきっかけとなるそうです。タバコを吸うと「血管が詰まる」確率を高めることは、今までも紹介してきましたから納得してもらえると幸いです。

タバコと引き換えに視野を失うなんて、知ってしまったら怖くてタバコには手を出しませんよね。

産業デザイン科 奥田 恭久

